

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 阪和興業株式会社  
 コード番号 8078 URL <http://www.hanwa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経理統轄  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

上場取引所 東大

(氏名) 北 修爾  
 (氏名) 秋元 哲郎  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3544-2190  
 平成21年12月3日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	531,946	△41.6	5,708	△71.2	5,139	△73.4	2,550	△75.0
21年3月期第2四半期	911,263	—	19,819	—	19,340	—	10,216	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.19	—
21年3月期第2四半期	48.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	436,511	99,817	22.7	473.86
21年3月期	479,379	94,912	19.7	450.05

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 99,179百万円 21年3月期 94,197百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,106,000	△28.1	14,800	△15.2	12,000	△20.0	7,200	20.1	34.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、4ページ「4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注)詳細は、4ページ「4. その他」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第2四半期 | 211,663,200株 | 21年3月期      | 211,663,200株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第2四半期 | 2,363,449株   | 21年3月期      | 2,358,475株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 209,302,503株 | 21年3月期第2四半期 | 211,329,080株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

### 【経済環境】

当第2四半期までにおける世界経済は、各国政府当局の金融政策や景気刺激策の効果により前年度第4四半期までの急落局面から下げ止まり、底入れの局面に移りました。特に中国では大規模な公共投資や消費奨励策が実需を底上げしており、他地域での実体経済回復の足取りが重い中であって、世界需要を牽引しております。一方、国内経済におきましても、設備投資や建設需要は依然低調なものの、各製造業は在庫調整に概ね目処をつけ、業界により景況感に差はあるものの、製造レベルの底打ちが見られるようになりました。

### 【業績の概況】

このような環境において、当第2四半期の連結売上高は、前年同期が需要増加局面での市況高騰の状況であったことに対し、当第2四半期は市況、需要ともに低迷したことなどにより、前年同期比41.6%減の5,319億46百万円となりました。また利益面でも、販売収益の減少に加え、前年同期での市況急騰による在庫商品の販売益による増益効果がなくなったことなどから、営業利益は前年同期比71.2%減の57億8百万円、経常利益は前年同期比73.4%減の51億39百万円、第2四半期純利益は前年同期比75.0%減の25億50百万円となりました。

### 【セグメント別の状況】

鉄鋼事業においては、国内外の需要低迷と鉄鋼商品市況の下落などにより、売上高は前年同期比39.1%減の3,037億72百万円となりました。また、営業利益は販売収益の減少に加え、前年同期の鉄鋼市況高騰による在庫商品の販売益がなくなったため、前年同期比64.6%減の45億25百万円となりました。

金属原料事業においては、鉄鋼・ステンレスメーカーの生産水準の低下による原料購入の減少や市況の下落などにより、売上高は前年同期比57.4%減の419億73百万円、営業利益は前年同期比69.4%減の11億36百万円となりました。

非鉄金属事業においては、前年同期に比べ低い価格水準にあったことや自動車・建材分野などでの需要減などにより、売上高は前年同期比46.9%減の198億8百万円、営業利益は前年同期比59.2%減の4億83百万円となりました。

食品事業においては、依然として需要が低調に推移し、価格も下げ基調にあったことなどにより、売上高は前年同期比17.0%減の361億72百万円、営業利益は前年同期比38.9%減の6億72百万円となりました。

石油・化成品事業においては、前年同期より価格水準が大きく下がったことや景気低迷による燃料需要の減少などにより、売上高は前年同期比47.2%減の1,078億44百万円、営業利益は前年同期比76.5%減の5億63百万円となりました。

その他の事業においては、主に住宅需要の低迷による木材製品価格の低下などにより、売上高は前年同期比21.7%減の223億74百万円、営業利益は前年同期比28.4%減の11億56百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### 【総資産・負債純資産の状況】

当第2四半期末の総資産は、売上高の低下に伴う売上債権の減少やたな卸資産の圧縮などにより、前期末比8.9%減の4,365億11百万円となりました。

負債は、運転資金需要の低下に伴う借入金の減少などにより、前期末比12.4%減の3,366億93百万円となりました。この結果、ネット有利子負債は、前期末比18.0%減の1,469億89百万円となりました。

純資産は、第2四半期純利益の積み上がりやその他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比5.2%増の998億17百万円となりました。この結果、当第2四半期末の自己資本比率は、前期末の19.7%から22.7%になりました。

### 【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期においては、売上債権やたな卸資産が減少したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・

フローは、433億46百万円の増加となりました。一方、投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出などにより、81億11百万円の減少となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済などにより、357億27百万円の減少となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億39百万円減少し、346億6百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

#### 【当期の見通し】

世界レベルでの金融危機は最悪期を脱しつつありますが、為替や金利動向、不良債権問題などの先行きについては依然不透明な状態にあります。また、実体経済面でも、世界経済の回復を牽引してきた中国の景気に調整入りの兆候が出てきており、米国を始めとする先進諸国の景気回復に時間がかかっている中で、世界経済の回復ペースも停滞が懸念されます。

また、日本経済につきましても、国内製造業の製造回復は中国での需要の増加や各国の景気刺激策による要素が大きく、今後の為替や内外需要の動向によっては失速も懸念されます。設備投資や建設需要などの内需が依然低調な中では、先行きについてまだ楽観視できる状況にはありません。

このような状況の下、当第2四半期の業績経過は、売上・利益ともほぼ期初予想どおりのペースで推移しておりますので、平成21年5月14日に発表しました業績予想に変更はございません。現時点における通期の連結業績は、売上高1兆1,060億円（対前期比28.1%減）、営業利益148億円（対前期比15.2%減）、経常利益120億円（対前期比20.0%減）、当期純利益72億円（対前期比20.1%増）を見込んでおります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### （税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異等を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### （会計基準等の改正に伴う変更）

##### 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準第15号）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準適用指針第18号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間に係る損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,764	35,200
受取手形及び売掛金	199,892	233,282
たな卸資産	76,582	90,765
その他	21,345	27,085
貸倒引当金	△846	△781
流動資産合計	331,739	385,552
固定資産		
有形固定資産		
土地	28,180	27,966
その他(純額)	19,271	18,440
有形固定資産合計	47,451	46,407
無形固定資産		
	775	733
投資その他の資産		
投資有価証券	37,948	28,022
その他	22,256	21,849
貸倒引当金	△3,659	△3,186
投資その他の資産合計	56,545	46,686
固定資産合計	104,772	93,826
資産合計	436,511	479,379

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	120,939	130,720
短期借入金	67,629	89,362
コマーシャル・ペーパー	1,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	2,703	189
賞与引当金	1,790	1,789
その他	21,900	30,426
流動負債合計	225,963	252,487
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	102,705	115,150
退職給付引当金	28	25
その他	7,996	6,802
固定負債合計	110,730	131,978
負債合計	336,693	384,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,651	45,651
資本剰余金	4	4
利益剰余金	56,525	54,650
自己株式	△757	△755
株主資本合計	101,423	99,550
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△278	△3,213
繰延ヘッジ損益	238	△248
土地再評価差額金	△180	△180
為替換算調整勘定	△2,024	△1,710
評価・換算差額等合計	△2,244	△5,353
少数株主持分	638	715
純資産合計	99,817	94,912
負債純資産合計	436,511	479,379

(2) 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	911,263	531,946
売上原価	876,342	511,558
売上総利益	34,920	20,387
販売費及び一般管理費	15,100	14,679
営業利益	19,819	5,708
営業外収益		
受取利息	560	256
受取配当金	479	338
為替差益	1,341	982
その他	262	308
営業外収益合計	2,643	1,885
営業外費用		
支払利息	2,163	1,705
その他	959	749
営業外費用合計	3,122	2,455
経常利益	19,340	5,139
特別損失		
投資有価証券評価損	720	—
関係会社減資為替差損	908	—
特別損失合計	1,628	—
税金等調整前四半期純利益	17,711	5,139
法人税等	7,470	2,698
少数株主利益又は少数株主損失(△)	24	△109
四半期純利益	10,216	2,550

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,711	5,139
減価償却費	1,129	1,251
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	298	550
受取利息及び受取配当金	△1,039	△595
支払利息	2,163	1,705
投資有価証券評価損	720	—
関係会社減資為替差損	908	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△60,968	28,767
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,171	19,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,933	△9,775
その他	△1,776	△1,945
小計	△18,091	44,240
利息及び配当金の受取額	1,030	593
利息の支払額	△2,153	△1,779
法人税等の支払額	△4,720	292
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,934	43,346
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△187	△162
定期預金の払戻による収入	—	143
有形固定資産の取得による支出	△2,806	△1,067
有形固定資産の売却による収入	323	29
投資有価証券の取得による支出	△14,167	△6,061
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,068	181
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△27	△702
長期貸付けによる支出	△10	△3
長期貸付金の回収による収入	52	28
その他	40	△495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,713	△8,111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40,567	△35,975
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	7,000	1,000
長期借入れによる収入	5,000	573
長期借入金の返済による支出	△7,625	—
配当金の支払額	△1,270	△1,255
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△31	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,636	△35,727
現金及び現金同等物に係る換算差額	395	△89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,383	△582
現金及び現金同等物の期首残高	14,178	35,046
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	142
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,562	34,606



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(百万円未満切捨)

	鉄 鋼	金属原料	非鉄金属	食 品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高									
(1) 外部顧客に対する売上高	498,948	98,509	37,310	43,601	204,324	28,568	911,263	—	911,263
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	(—)	—
計	498,948	98,509	37,310	43,601	204,324	28,568	911,263	(—)	911,263
営 業 利 益	12,784	3,715	1,183	1,100	2,392	1,614	22,790	(2,971)	19,819

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(百万円未満切捨)

	鉄 鋼	金属原料	非鉄金属	食 品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高									
(1) 外部顧客に対する売上高	303,772	41,973	19,808	36,172	107,844	22,374	531,946	—	531,946
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	(—)	—
計	303,772	41,973	19,808	36,172	107,844	22,374	531,946	(—)	531,946
営 業 利 益	4,525	1,136	483	672	563	1,156	8,538	(2,829)	5,708

(注) 事業区分は、取扱商品によって区分しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。